

～道徳ノート（真海のチャレンジ—佐藤真海—）

～〈抜粋〉～

・ぼくも、真海さんと同じ体験をしたことがありました。陸上をやっている、駅伝のメンバーに入れなかったことです。5、6年のチームをつくる時、Aチームから外れ、Bチームで走ったことがくやしいです。Aチームは優勝したのに、Bチームはよくない成績でした。これと他のことをきっかけに、たくさん練習するようになりました。そのおかげで、最近では、自己ベストに並ぶような良い記録を残せるようになってきました。チャレンジすることは、とても必要だなあと思いました。これからもたくさん練習して、真海さんのように、日本や世界の舞台でどうどうとして、走ることがぼくの今の夢で目標です。

・～中略～最後には、ずっと先の夢と考えていたことにも、また、向き合えたので、よかったと思えました。辛くても笑顔で乗り越えるのが一番だなと思えます。これからも、自分に自信をもって、何があってもそこで立ち止まらずに、失敗してもうまくいなくても何度も何度も挑戦して、チャレンジして、乗り越えようと思えました。生きていることに感謝したいです。

・～中略～最後に、ぼくは運動も勉強もそこそこできているだけなので、1つのことを、極みを高めていきたいなと思えました。

・～中略～なにもかもがいやで辛かったと思うけど、あきらめずにしていて、すごいと思えました。真海さんの写真があって、そこにかいてあったのが「辛いときほど、笑顔」という言葉で、それがすごく心にのこって、私も「つらいなあ」「いやだなあ」「やりたくないなあ」とか思っても、辛いときも笑顔は、心がけていきたいです。

・「自分のしたいこと、自分にできることを見つけて、気持ちを否定せず、素直になったからこそ、今は、明るく元気に過ごせているんだと思います。真海さんの言葉で、心に残ったのは、「限界のふたを外す。」と「私にとって大切なのは、私が持っているものであって、私が失ったものではないということ学びました。」です。どれも、前向きでいいと思えました。

・心に残った言葉は、「目標を決め、それにこえる喜びを感じ、新しい自信が生まれる。」です。自分の成長を実感するには、まず、自分ができない事をさがし、それをどのようにすればできるようになるのかを知り、自分で、できるようになるまでしないとダメだと思います。